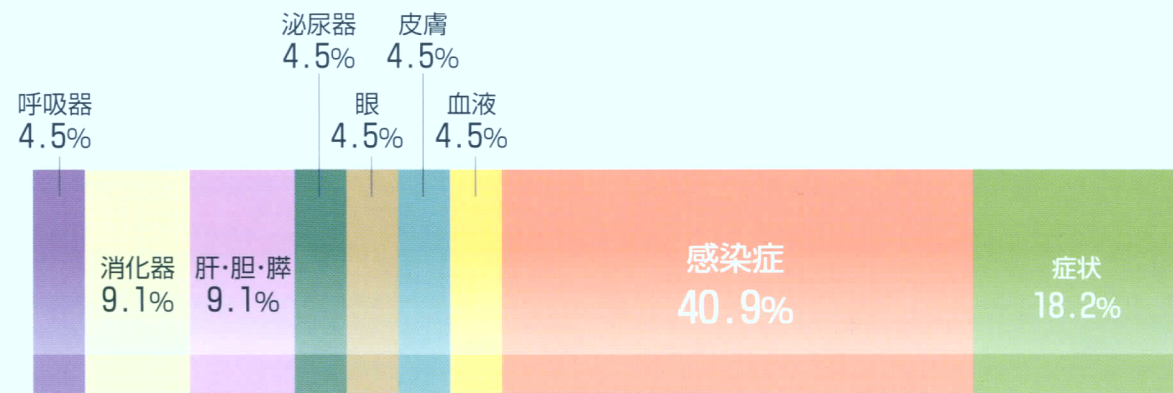


全ての猫にワクチンによる予防が望まれる。

猫の死亡原因(0歳)のトップは感染症

猫の死亡原因(0歳)



アニコムホールディングス、意外と知らない猫統計、2011、Felis 1(11)

● ワクチン接種プログラム(例)

初年度ワクチン接種
8週齢以上の子猫
3~4週間間隔で2回注射(皮下)

ブースター接種
1年後

WSAVAガイドライン2010では、移行抗体価が高いケースの最終接種は14~16週齢以降を推奨

一般的な猫

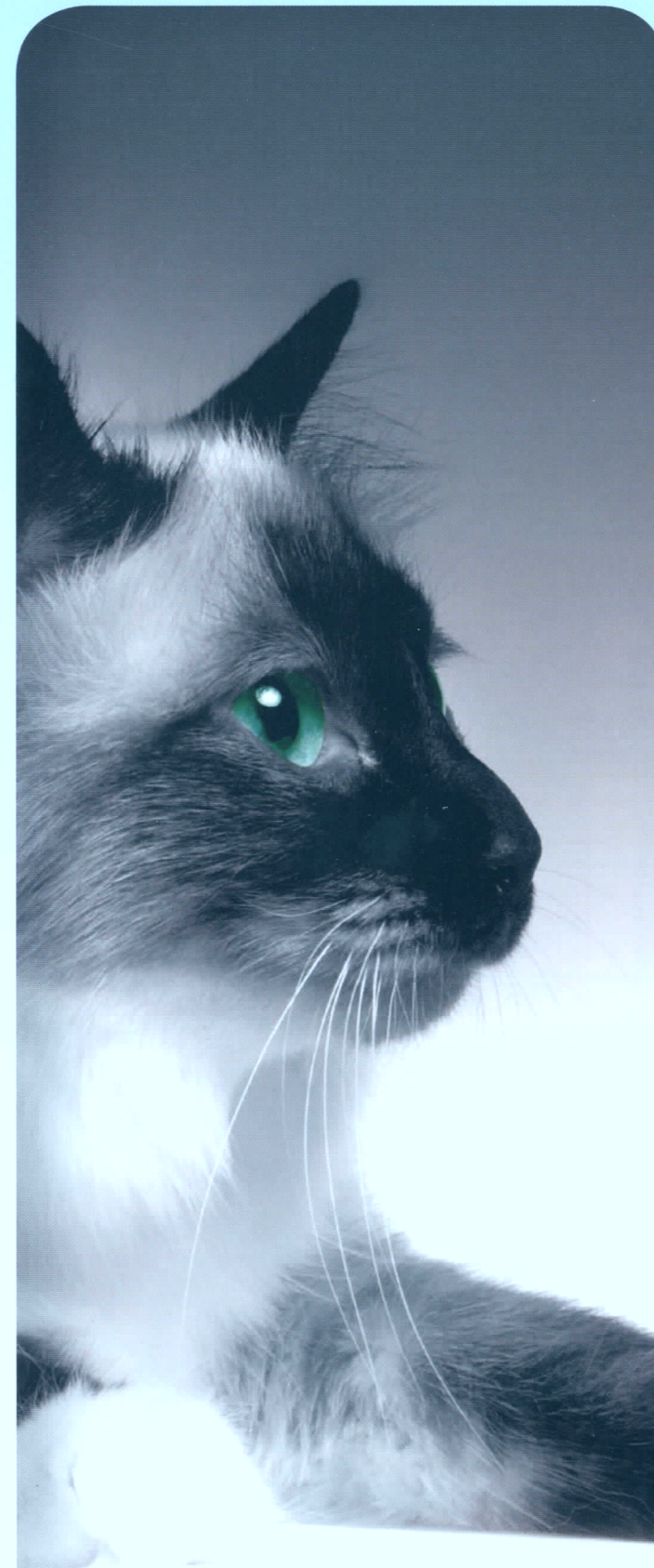
ピュアバックスRCP

FeLV/クラミジア感染のリスクが高い猫

ピュアバックスRCPCh-FeLV

PURE VAX®

RCP RCPCh-FeLV



動物用医薬品 要指示
猫ウイルス性鼻気管炎・猫カリシウイルス感染症2価・猫汎白血球減少症混合ワクチン

劇 **ピュアバックス® RCP**

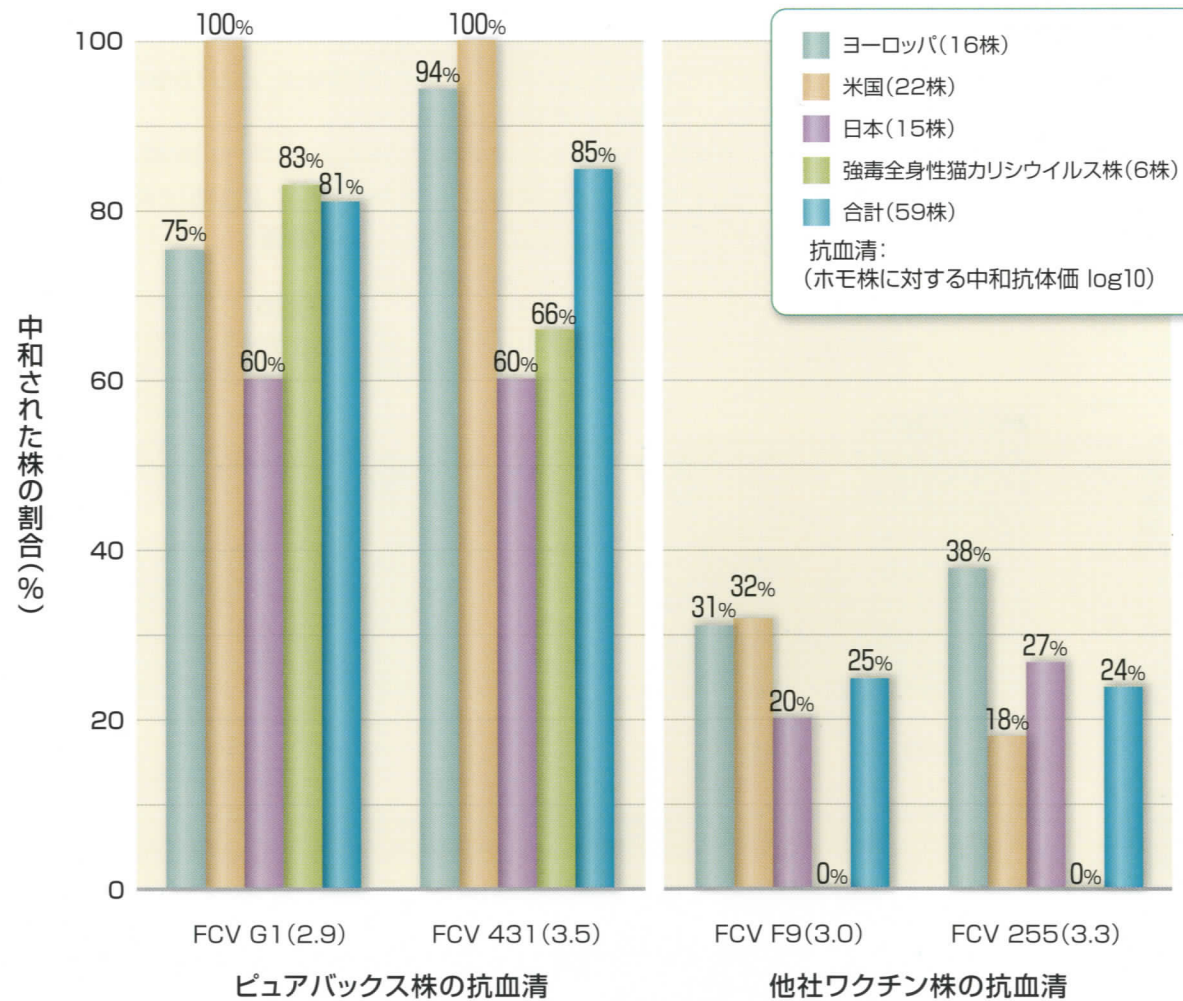
動物用医薬品 要指示
猫ウイルス性鼻気管炎・猫カリシウイルス感染症2価・猫汎白血球減少症・猫白血病(猫白血病ウイルス由来
防御抗原蛋白遺伝子導入カナリア痘ウイルス)・猫クラミジア感染症混合ワクチン

劇 **ピュアバックス® RCPCh-FeLV**

有効性

多様な猫カリシウイルス野外株に対する高い有効性

ワクチン株に対する抗血清を用いたFCV株間における交差中和試験の結果(分離された国別)



ピュアボックスは多様なFCV株の93%(55/59株)を中和

日本分離株および強毒全身性猫カリシウイルス株も含む

ピュアボックスに用いられている猫カリシウイルス2株(G1株、431株)を組み合わせることにより、広い抗原域を実現しています。

ピュアボックス®の特長

ピュアボックスは、安全性と有効性を追求した、生ワクチンと不活化ワクチンの新しい組み合わせのワクチンです。

ピュアボックスRCP

猫ウイルス性鼻気管炎ウイルス F2株	弱毒生
猫カリシウイルス G1株	不活化
猫カリシウイルス 431株	不活化
猫汎白血球減少症ウイルス PLI IV株	弱毒生

ピュアボックスRCPCh-FeLVはRCPの特性をそのままに新技術を用いた次の2つの株を組み合わせました

クラミドフィラ・フェリス 905株	弱毒生
猫白血病ウイルス由来防御抗原蛋白発現遺伝子導入カナリア痘ウイルスvCP97株	組換え生

1 ノンアジュバント

- 接種部位の炎症や線維肉腫のリスクを軽減

2 猫カリシウイルスは不活化で2株を使用

- 弱毒性カリシウイルスは病原性復帰の懸念があるので不活化が安全
- G1株と431株を組み合わせることにより広い抗原域を実現

3 猫白血病ウイルス(FeLV)については、感染防御に必要な細胞性免疫を強化

- エンベロープに対する抗原だけでなく、コア蛋白抗原を含むワクチン。防御域の拡大を実現

PUREVAX®

有効性

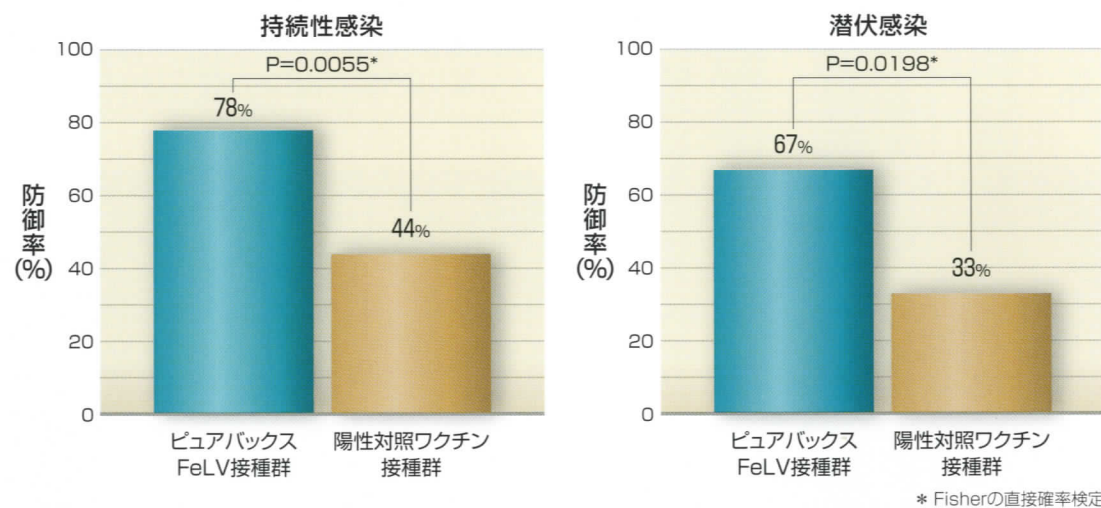
猫白血病ウイルス(FeLV)に対する感染防御効果

ピュアバックスFeLVワクチン成分(vCP97株)を2回接種した後に強毒FeLV株(Glasgow-A)を腹腔内へ接種した結果

ピュアバックスFeLVワクチン接種群はFeLV持続性感染を78%および潜伏感染を67%防御

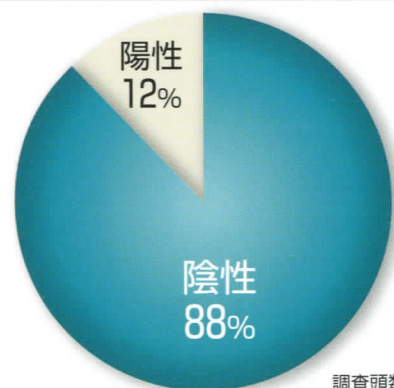
- ・持続性感染は、攻撃前、攻撃後毎週1回15週目までの血液サンプルからの抗原検出、および攻撃前、攻撃後第3、6、11、15週目の血漿からのウイルス分離により確認
- ・潜伏感染は、攻撃後17週目に採取した骨髄サンプルを細胞培養(含ヒドロコルチゾン)しウイルス分離により確認

ピュアバックスに用いられているvCP97株が誘導する免疫応答により猫はFeLVの持続性感染・潜伏感染から守られ、リンパ造血系疾患のリスクを軽減



Hofmann-Lehmann R. et al. Reassessment of feline leukaemia virus (FeLV) vaccines with novel sensitive molecular assays. *Vaccine*. 2006, 24: 1087-1094.

週に1回以上外出する飼い猫のFeLV陽性率 (2008年全国調査)



調査頭数 1,770頭

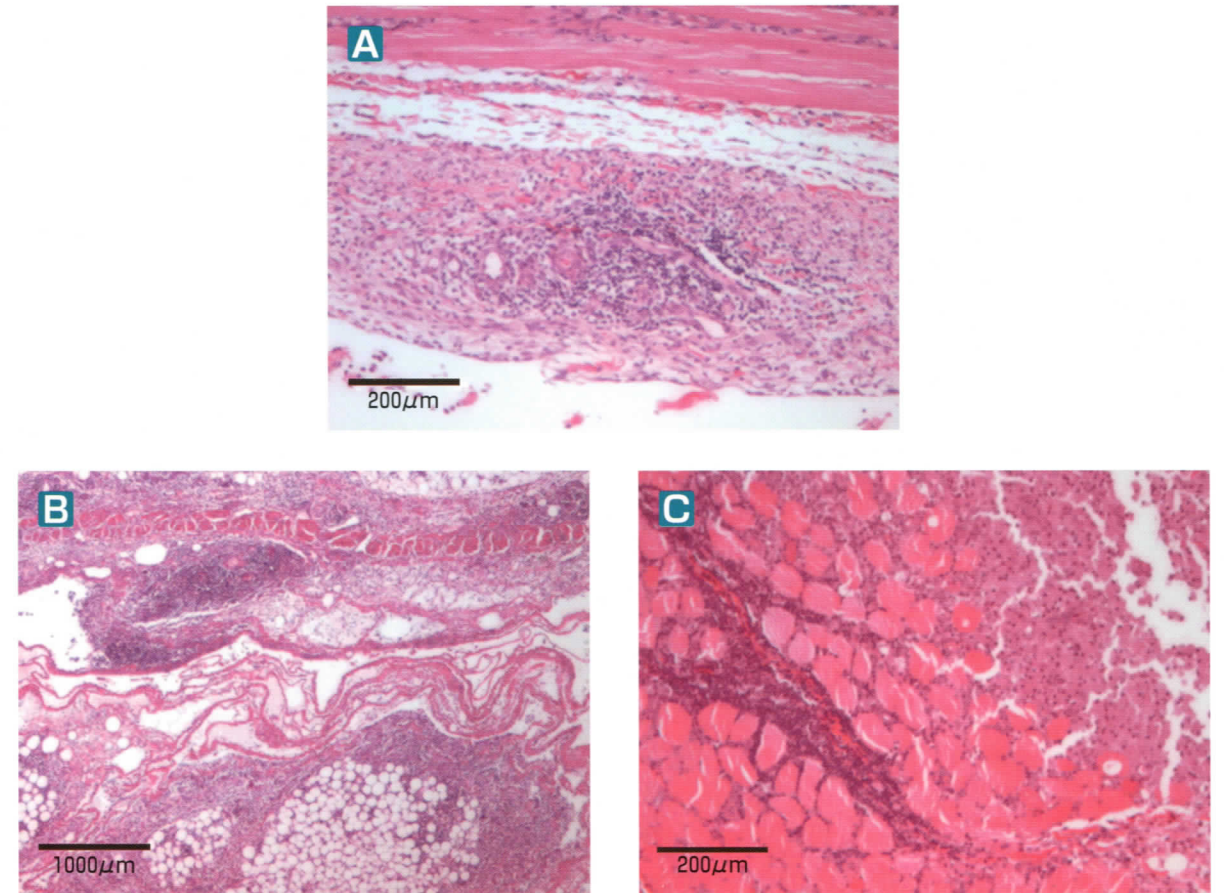
FeLV陽性猫は216頭(12.2%)であった。
そのうち、FeLV単独感染が143頭(8.1%)、
FeLVとFIVの混合感染が73頭(4.1%)であった。

日本内科学アカデミー/日本獣医臨床病理学会 2009年大会
猫感染症研究会 シンポジウム 猫の病気: FeLVとFIVを極める-2008年 47都道府県での調査結果をもとに

安全性

ワクチン接種後の猫の皮下組織における病理組織学的変化

FeLV加混合ワクチン接種7日目の組織像の比較



- A: ピュアバックスRCPCCh-FeLV(ノンアジュバントワクチン)
- B: 油性アジュバントを使用した5種混合ワクチン
- C: 水酸化アルミニウムゲル+サポニンを使用した5種混合ワクチン

ノンアジュバントワクチンであるピュアバックスRCPCCh-FeLVの投与により炎症反応の有意な低下(全期間の総合スコア: $p = 0.000$ 、対応のあるt検定)が確認された。

Day MJ. et al. A kinetic study of histopathological changes in the subcutis of cats injected with non-adjuvanted and adjuvanted multi-component vaccines. *Vaccine*. 2007, 25: 4073-4084.

